

# 令和4年度 社会福祉法人こうち福社会事業報告



障害福祉サービス事業	：	ライフ・ステージ	あおぞらセンター（定員30名）
		ライフ・ステージ	蒼空舎（定員40名）
		ライフ・ステージ	第2あおぞら（定員20名）
		ライフ・タウン	あおぞらホーム（定員100名）
		ライフ・タウン	蒼空舎（定員9名）
相談支援事業	：	ライフ・サポート	あおぞら

## いきいき工房 クッション

生活介護 ライフ・ステージ あおぞらセンター

サービス管理責任者：林 愛佳

### 1、人員について

- ・メンバー14名：支援員2名（いきいき工房内兼任）  
袋とじ＝職員対応、袋縫い＝職員対応、  
シーラー掛け、計量、袋詰め、ほぐし、オイルパッド箱詰め  
※大量生産時には、いきいき工房内全体で作業に参加した。
- ・マシン（袋とじ）は、検品をする為に支援員が行った。
- ・4年度10月より第2あおぞらからセンターへサービス移行を行った利用者1名いる。



### 2、利用者活動

- ・コロナウイルス感染対策のため、毎日の検温、手洗い、うがい、消毒を習慣にできるように見守り、声掛けを行った。天気の良い日だけに限らず、1年を通して冷暖房を利用しながら常に換気を行った。併せて、マスク着用ができるメンバーについては正しいマスク着用の声掛けを行った。
- ・希望者には、ほぐしケースを使用してもらい、ブレンド作業では吸塵器を取り付けてホコリ対策を行った。メンバーにはメガネ、マスク、白衣、帽子を着用してもらい、室内に空気清浄機や加湿器を置き、快適な空間になるように気を付けた。作業後は、掃除機をかけて粉ホコリが残らないようにし、身体に付いたホコリはハタキで除けた。
- ・ケースを使用できるメンバーが、時々準備が抜かることがあり、声掛けを要した。
- ・エアコン、空気清浄器、加湿器のフィルター掃除をこまめに行なった。
- ・作業前には量りの目盛りにズレが無いか支援員が確認を行い、シールを貼った所を目印に定められた量での計量の徹底を行った。また、汚れや不純物がある場合は支援員に声掛けする等、品質維持を心掛けた。
- ・毎朝の30分の散歩と、コロナウイルスの感染防止に気を付けながら、余暇活動の提供を行ってきた。

- ・他の作業との兼ね合いもあり、計量やブレンド、袋返し等をいつもやっているメンバー以外にもできるよう少しずつ育成した。



### 3、受託製造

- ・ 納入先… (株) 環境機器
- ・ 納品

令和4年度 クッション月別納品表

単位：箱 PEシートのみ：枚

4月～10月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
すいとるS	10	15	10	2	12	6	12
すいとるシート	0	0	1	0	3	0	0
すいとるL	0	0	0	0	0	0	0
すいとるオイル5L	14	32	2	18	17	17	6
すいとるオイル2L	0	10	6	12	10	13	18
PEシート	0	0	0	0	0	0	0
合計	24箱 0枚	57箱 0枚	19箱 0枚	32箱 0枚	42箱 0枚	36箱 0枚	36箱 0枚
11月～3月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
すいとるS	10	37	25	32	23	194箱	
すいとるシート	19	7	5	7	1	43箱	
すいとるL	0	9	4	0	0	13箱	
すいとるオイル5L	14	5	0	0	43	168箱	
すいとるオイル2L	15	0	13	7	14	118箱	
PEシート	0	0	0	0	0	0枚	
合計	58箱 0枚	58箱 0枚	47箱 0枚	46箱 0枚	81箱 0枚	536箱 0枚	

### 4、留意

資材仕入れに関しては、(株) 環境機器から入れている。

鳥インフルエンザの影響もあり毎年10月以降忙しくなっている。環境機器から3カ月ほどの発注予想数を把握しながら在庫確保に努めた。しかし、予測不可能な受注もあり、生産に時間を要した。

# いきいき工房 菓子袋詰め、薬味入れ、乾燥こんにゃく

生活介護 ライフ・ステージ あおぞらセンター

サービス管理責任者：林 愛佳

## 菓子袋詰め

### 1、人員について

メンバー6名（いきいき工房5名、あみおり工房1名兼務）

支援員2名（いきいき工房、あみおり工房兼務）

メンバーについては、少しずつ育成を行い一つの工程を複数人ができるように支援を行っている。また、固定メンバーだけでなく取り組めることができそうなメンバーについても個々にあった作業工程を実習してもらっている。



### 2、利用者活動

- ・直接口に入れる食品を計量しているため、別室で作業を行った。
- ・ネット帽子、白衣を着用し、手洗いやうがい、消毒は元より室内に入る前の埃取り（ローラー）、作業専用のスリッパに履き替えて行った。また、衛生面全般として爪切りや入浴の声掛けを行い、家族にも協力依頼をした。
- ・クッションや、手袋作業と並行するため、計画立てて作業を行い納期に間に合うよう流れを作った。
- ・コロナが少しずつ緩和されたことにより人の流れも多くなるにつれて、受注量が増えてきた。



### 3、内職作業

- ① 納入先…高知県特産品販売
- ② 納品

#### 令和4年度 作業月別納品表

単位：袋

4月～10月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
ミレービスケット ×芋けんぴ	6006	3598	1199	2409	6020	2391	2396
土佐の 生姜飴	0	0	0	889	0	2662	905
11月～3月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
ミレービスケット ×芋けんぴ	4788袋	2374袋	2418袋	1198袋	3,599袋	38,396袋	
土佐の 生姜飴	903袋	904袋	0袋	904袋	0	7,167袋	

※令和3年度のみレー納品数は29994袋だった。

### ③ 留意

作業内容が慣れてきたことで突発的な依頼もあった。電話と FAX でやり取りを行い取引先の要望に沿うよう、作業を組み立てた。芋ケンピの短いもの、ミレーの割れを選別しながら出来た数量だけ納品している。

賞味期限印字を間違わないよう、取引先と共通認識ができるよう FAX で記載した用紙を送り確認している。また、作業前にはホットプリンターの印字と、ラベラーの印字間違いがないか支援者 2 人で確認を行い作業日誌に記載している。余った材料や原料を返品しているため、在庫管理はない。

## —— 薬味入れ ——

### 1、人員について

メンバー 14 名（いきいき工房内兼務）・支援員 2 名（兼務）

薬味は〈しょうが・にんにく・わさび〉3 種類の組み合わせと〈しょうが・にんにく〉2 種類の組み合わせ作業がある。シーラー掛けは点検も兼ねて、支援員が行った。

### 2、利用者活動

- ・食品を扱う自覚を持ち、衛生面に配慮した。
- ・手洗い、うがい、消毒の励行を行った。作業前には作業台を拭きアルコール消毒を行い、道具を準備した。
- ・決められた期限内に納品出来るよう計画的に取り組んだ。

### 3、内職作業

- ① 納入先…パステム・マツザワ
- ② 納品

令和 4 年度 薬味入れ月別納品表

単位：袋

4 月～10 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
薬味入れ	4000	0	9000	6000	2000	0	2000
11 月～3 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計	
薬味入れ	11000	4000	2000	2000	2000	44000	

### ③ 留意

数日間の集中的な作業になる為、他の作業と同時に計画を立てながら取り組んだ。支援員がシーラーの際向きや数の確認を必ず行った。また、依頼されていた納品数以上の物についてはバラで全てパステムさんに返している。

## —— 乾燥系こんにゃく ——

### 1、人員について

メンバー2名（クッション兼務）・支援員1名（兼務）

### 2、利用者活動

- ・食品を扱う自覚を持ち、衛生面に配慮できるよう声掛けを行った。
- ・手洗い、うがいの励行、帽子・マスクの着用の習慣化、また作業開始前には必ず作業台を拭き、乾燥系こんにゃくの道具を準備した。

### 3、内職作業

① 納入先…生協等 \*仕入れはトレテス熊本

② 納品

- ・生協…不定期に注文がある。2～3ヶ月程前から、納品依頼のFAXが入る為に計画的に製造を行う。
- ・よさこい工房…給食での使用分、日曜市やバザー等の販売分を取りまとめて注文がある。
- ・個別販売…不定期にある。

令和4年度乾燥系こんにゃく月別納品表

単位：袋

4月～10月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
しこくコープ	0	0	0	0	0	82	0
よさこい工房	125	0	187	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
合計	125	0	187	0	0	82	0
11月～3月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
しこくコープ	0	0	0	0	0	82	
よさこい工房	0	0	95	0	45	452	
その他	0	30	0	0	0	30	
合計	0	30	95	0	45	564	

④ 留意

賞味期限を確認しながら、納品先を配慮した。



# いきいき工房 お楽しみ活動

生活介護 ライフ・ステージ あおぞらセンター



ゆあさサンタ

イエローレシート買い物 (4月22日)
新緑を見に行こう in 土佐町 (5月19日)
あじさい鑑賞 (6月7、9日)
バーベキュー (7月26日)
芋堀り (10月20日)
ふれあいスポーツ広場南国大会 (11月1日)
焼き芋 (11月8日)
健康診断 西病院 (11月14日)
サーカスを観に行こう (11月17日)
障害者作品展 (11月19日)
もちつき大会 (12月14日)
クリスマス会 (12月22日)
新春スポーツ大会 (1月31日)
お花見ドライブ第1弾 (3月23日)
お花見ドライブ第2弾 (3月30日)
あおぞら体操 (毎月1~2回程度)
いきいき100歳体操 (月1~2回程度)
あおぞら会 (月1回)
移動図書館 (月1回)
あおぞら映画鑑賞会 (月1回)



島村 浩伸さん

※合同活動も含む。

# いきいき工房 コロナウィルスによる事業所閉鎖について

・利用者の同居家族が陽性

8日間閉鎖 (令和4年7月11日~21日)



香南市 西川花公園



さくらサーカス

# あおぞらカントリー 畑ばたけ

継続B ライフ・ステージ 蒼空舎

生活介護 ” あおぞらセンター

支援員：宮内 知志、川村 哲也、伊東 昌彦、谷脇 豊実

## 1、人員について

利用者 15名 畑作業（あおぞら6名、蒼空舎3名）ニラ調整作業（蒼空舎6名）

支援員 5名

### ① メンバーの育成

個別支援計画の目標に向かい、メンバーの安全面への配慮を一番に考え、個々の成長の変化に応じ様々な角度から支援してきた。

職員が主にやっていた作業にも積極的に参加してもらい、メンバーのモチベーションが上がる様子も垣間見ることができた。

多様なメンバーがいる中、メンバー間の関わりあいを円滑に保てるよう、職員間でメンバーの現状を把握し支援した。

### ② 実習生の受け入れ

実習の要望があれば、積極的に受け入れた。また、卒業後の進路として、当法人が加われるように意識して実習生の対応を行っている。

### ③ 利用者について

R5. 3月末 1名退所される。

## 2、利用者活動

・体調管理に気を配る。夏の暑い時期は、休憩の回数を増やし、塩分補給に塩飴、水分補給にポカリを取り入れた。猛暑日など炎天下での作業を避け日陰になる原木ハウスなどで環境整備を行う。冬雨の時など、ハウス内で作業したり、環境整備などに切り替えた。

・タオルや着替えを各自で用意し、汚れたり濡れたりした時に取り換えるよう支援を行った。また、帽子、長靴、軍手の着用を徹底させ、作業に対する準備を意識してもらおう。

・作業後の手洗い・うがい・消毒などを支援する。畑での汚れを施設に持ち込まないように声掛けをまめに行う。

## 3. 自主農園製品

### ①果樹栽培（伊野町八田にて）

・桃

今年度の12月に白桃（ひめまるこ）6本、2月に天津桃21本、3月にスモモ5本を植栽した。現在、桃、スモモ含め35本栽培中。木を少しでも早く大きく育てるために、栽培管理、圃場管理に力を入れている。

- ・柿

二年生、三年生の苗木もまだまだ多く栽培管理・圃場管理に力を入れている。

- ・梅

今年度2月に追加で南高梅（1年生）7本、青梅1本、小梅1本を植栽した。現在、梅を19本栽培中。小梅は来年度収穫できる見込み。

- ・土佐文旦

今年度3月に苗木を10本定植。様子をみながら管理している。

- ・レモン・水晶文旦

西ノ谷のハウスにて栽培予定。ハウスのビニールの張替えを行い、植え付けるために畝をたて準備をしている。注文している苗木が着き次第、定植する。

## ②花卉栽培

- ・仕入れ

今年度、観葉植物については、出来るだけ再利用を心がけ、必要最低限の仕入れに留めた。肥料やポットなどの必要資材についても計画的に購入した。資材は年々高騰が続いており、少しでも安く資材を仕入れる工夫が必要である。



森本さん ・ 吉本さん

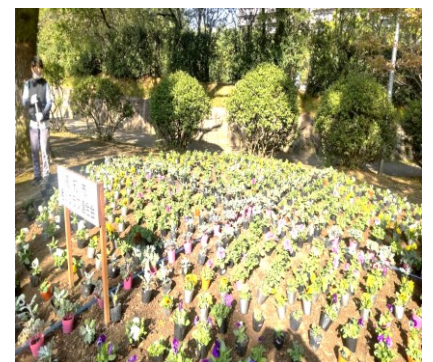
- ・製造

今年度は栽培管理において、気候変化に対応しきれず、出荷時期が少しずれてしまうことがあった。特に、夏まきのパンジー、ビオラは高温とコロナ感染が広まった時期で育苗が大変難しかった。適切な管理、育苗に今後も注力していきたい。

- ・販売

主にハウス前やおおぞら前の良心市で販売している。毎年購入してくださる学校、保育園が本年度も花苗の購入をさせていただいた。今年度から新たに小学校1校、保育園1園が新たに花苗の購入を開始してくれた。

リピーターとして直接ハウスに来て話しかけていただき購入してくれる顧客もずいぶん増えており、季節ごとに楽しみに花苗を買いに来てくださっている。プランター植栽で使った花など状態の良い物は、手入れをし、良心市で販売した。



## ③露地栽培

- ・仕入れ

肥料や薬剤、消耗品など必要な物を無駄にならないよう計画的に購入した。特に肥料などは高騰しており、栽培に必要なだけ適宜購入した。



・栽培

大根：今年度は形も良く、無駄なく、ほぼ完売することができた。

人参：発芽がうまくいかず播き直しをする。その後、発芽は概ね上手くいったが、管理が行き届かず、収量が少なかった。

さつまいも：主に保育園の芋ほり用に栽培している。今年度はコロナウイルス感染症の影響で芋ほりの開催が心配されたが、3つの保育園が芋ほりを開催してくれた。生育に関しては、マルチ栽培という事もあり、従来より遅く植え付けを行ったが、しっかりした大きさの芋が収穫できた。



・販売

野菜の販売先は、スーパーの直産市、日曜市、飲食店、給食、弁当屋、よさこい工房、保護者等で出荷した。今年度もほぼ無駄なく販売することができた。

④椎茸栽培

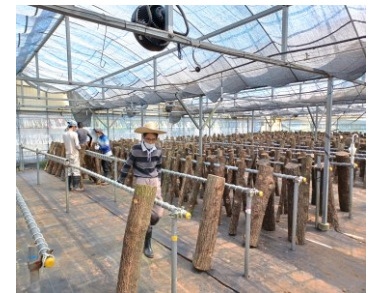
・仕入れ

本年度も地域林業総合支援事業補助の交付を受ける事が出来た。

原木：西土佐村森林組合で5000本を仕入れる。

種駒：森産業㈱にて9万（にく丸5万、金太郎4万）駒を仕入れる。

備品：量販店や通販等、最安値を調べて仕入れる。



・栽培

昨年度同様に支援事業補助を受け期間内に接種を終え、全数検査と書類審査を経由し補助金額が確定しました。

主な作業（接種、仮伏せ、本伏せ）には職員1～2名、利用者5～7名で対応しました。収穫は職員1～2名、出荷は1名～他の作業が終わった者からの応援で対応。

ここ数年の傾向で温度（高温多湿）、病害（ラクテア、トリコデルマ）、害虫や害獣の対応が多くなっておりハウス内換気管理、殺菌剤や殺虫剤の散布、ハウス周りの除草等の管理が増えてきている。

今回、内ノ谷ハウスで前年度とほぼ同じ収穫量だったが弘岡ハウスは昨年度を大きく下回ってしまったが露地で置いていた原木からの収穫量が増加したので総計は大幅な減少は免れた。メーカーや栽培経験者からの意見を聞いたが原因は不明、ハウス内の殺菌消毒や換気の循環等のアドバイスを頂き次回栽培までには実施していく。

収穫量 2, 4 4 1. 1 kg（昨年度 2, 5 5 5. 0 kg） - 1 1 3. 9 kg

・販売

販売先は野市青果店、とさのさと、サンシャイン（太陽市）、華珍園、センター前良心市、よさこい工房、JA（春の里）、サニーマート（はるの市）A-MAX、土といのち、日曜市、第二、保護者、グループホーム、バザー等の販売があった。

品質をA品、B品、C品とランクを付け、A品、B品は生椎茸で販売し、C品はスライスで乾燥椎茸にし、よさこい工房に協力して頂き販売を行った。

昨年度より収穫量が減少し売上も下がってしまった。

売上 1,851,599円（昨年度 2,036,017円） -184,418円

#### ⑤きくらげ栽培

##### ・仕入れ

菌床：森産業㈱にて540床を仕入れる。

備品：量販店や通販等、最安値を調べて仕入れる。

##### ・栽培・出荷

昨年度は120床、本年度は540床を導入して4回（1回につき135床）に分け1週間、期間をあけて切込みを入れ約3か月間、栽培をしました。

人力的には菌床を吊棒にセットする作業や定期的にハウス内の清掃が必要な時に職員1名と利用者2~3名とで行った。収穫は基本、職員1名で対応して手入れ（石突き処理、洗い）は常駐として職員1名、利用者1名で行い、これからの事も考え作業実習として数名体験してみたが常駐させるに至っていない。出荷（計量、パック詰め）も基本、職員1名で利用者は出来ていないのが現状です。

問題点としては収穫3回目くらいから虫が発生、気温上昇による高温障害、きくらげ表面の異常、洗いの際の耳切れ等、栽培量や期間を増やしたら色々課題が出たが調整、記録を取りながら良品の栽培に努めていく。

本年度 収穫量 674.9 kg 処理後 512.1 kg 歩留 76%（菌床数 540床）

昨年度 収穫量 134.9 kg 収穫量 115.3 kg 歩留 85%（菌床数 120床）

##### ・販売

販売先は主にスーパー等の量販店を中心にサンシャイン（太陽市）、JA（春の里）、サニーマート（はるの市）A-MAX、個人向けで販売をした。また実験的に乾燥ハウスで行った乾燥きくらげをよさこい工房で使用してもらった。

売上 749,085円（昨年度 204,206円）

#### ⑥ニラ調整作業（野市青果委託）

作業については、利用者6名、職員3名で行っている。ニラの状態により仕上りの量が変わってくるが、良い時は30箱以上できる事もある、また悪い時でも20箱できる様に手順の確認を日々行っている。

そぐり機について・・・利用者3名で行っており、流すスピードや置き方によって、きれいにそぐれず手入れに時間が掛かったり、ゴミ箱へ良いニラが落ちて歩留まりが悪くなっていたので、その都度の声掛けや手順の確認が必要であった。

手入れについて・・・そぐり過ぎたり葉先の枯れの除け抜かりや除け過ぎなどがあり、仕上り量が安定しない事が多い。



計量について・・・利用者6名で行っており、手入れをしながらと手入れ済みと2パターンで取り組んでいる。手入れをしながらだとスピードが落ちるが、手入れ済みになるとスピードも良く目標以上の作業量が出来ている。

結束機について・・・職員1人で最終検品と箱詰めを行っている。

作業賃 1束10円 1箱50束500円

1年間の売上 1,618,000円

( 昨年度売上 1,912,000円 )

野市青果ニラ栽培部門も立上げて4年目になるが、植え替え時期や成長待ちなどで作業が休みになる事があった。また、野市青果自体でも調整作業を行っており回ってくる原体の量が少なくなり昨年度の売り上げを下回った。

課題としては、状態が悪い時に10箱前後の仕上りで終わる事があり、常時20箱仕上げる様に手順の確認を日々行いスキルアップに繋げる。

#### 4. 今後

今後も利用者の安全面への配慮を一番に考え、感染症予防対策にも力を入れ職員一同、メンバーが満足できる就労環境を構築できるよう努めていく。

## よさこい工房 食品加工

生活介護 ライフ・ステージ あおぞらセンター  
就労B " 蒼空舎

管理者：鎌倉 節子

今年度売上は県内取引前年比 126%と増加、逆に県外取引は前年比 87%と減少したが全体で見ると前年比 100%と売上を維持することができた。新型コロナの影響が続く中、多くの県外スーパーなどが閉店し、取り扱い金額の多かった五味商店やアグリイノベーション向けが苦戦した。

既存商品の需要の掘り起こしの取組として、取引実績のある店舗との再度商談会や、調味料を変更した佃煮類を改めて提案したりなどの活動を実施した。

#### 1 利用者について

- ① メンバー1名は厨房に入り製造作業の一翼を担う力量を身に着けることができた。また、必要に応じて支援員への報告、相談も行えるようになった。
- ② メンバー増員につき現在4名が在籍。
- ③ 毎朝、朝礼で5Sの読み上げをし、衛生管理や食品安全への意識を高め、清掃の徹底など出来ることから実践していった。

## 2 製造について

- ① IT 補助金により導入したシステムの運用で職員の作業負担は増えてしまったが、製品在庫の把握や売上金額・個数などの集計はスムーズになった。引き続き効率的な運用を模索し、精度の高い数字を把握できるよう活用していきたい。
- ② 「計画的な製造を行う」という目標を立てたが、システムの運用及び高知県版 HACCP 第3ステージ取得に伴う記録等の作業が煩雑化し、理想的な計画製造は実施できなかった。
- ③ ゼロコロナ・ゼロクレームを目指していたが、感染者を出してしまった。しかし、職員同士で協力し製造に大きな影響が出ないように努めた。また、クレームに関してはシロップで栓の締めが甘く、輸送中の液漏れをおこしてクレームとなった。



山内さん ・ 氏原さん

## 3 営業活動について

- ① 十分な感染対策を行い、オンライン商談会 6 件、リアル商談会 3 件に参加した。
- ② エクセルやイラストレーターを活用したポップの制作、商談用や出店用の展示棚や敷布の制作をし、売れ筋商品をアピールした。また SNS による商品の紹介やイベント出店の告知などを行った。
- ③ 調味料やレシピを変更することで、無添加の「こだわり商品」としての良い評価が取引先から聞こえるようになった。
- ④ 同法人内でのジャム用の果樹栽培がスタートし、農薬の量や生産方法をコントロールできるようになった。まだまだ先の事だが、今後自家で収穫した材料によるジャム製造が始まれば、「安心・安全・こだわり」の付加価値を高めることができる。
- ⑤ 令和3年度 IT 補助金により導入した「製造・在庫管理システム」の試運用を実施した。各職員がシステムの使用方法を覚え、R5 年度より本格運用していく。
- ⑥ PB 商品として「小夏のマーマレード」や「さくらのシロップ」、「文旦のコンポート」などの話があった。「小夏のマーマレード」は提案をもとに試作品を作り、取引先様にて試食してもらった。現在商品化には至っていないが、引き続きフォローしていく。
- ⑦ 発注が止まっている顧客の情報収集を行った。主要取引先である「五味商店」「G7 ジャパン」「アグリノベーション」などの県外卸業者向けの売上が振るわなかった理由として、小売り 20 店舗ほどは注文が止まっており、4 店舗は閉店していたことが分かった。今後、新たな提案や売上を伸ばすための方針を検討するうえで、顧客の状況をこまめに情報収集していく。

## 4 課題

- ① 受注状況を見極めた製造計画。  
なかなか在庫が溜まらず、苦戦をした。R5 年度は営業サイドで顧客への需要聞き取りを強化するなどし、精度の高い受注予測を製造計画に反映できるよう努めたい。





② チャンスロス対策の検討と計画。

県内取引先との連携によりチャンスを活かすことができ、受注が増加した。

③ 高知県版 HACCP 新第3ステージの認証。

期内的な認証には至らなかった。申請書類の不備をしっかりと整え、改めて R5 年度内での認証を目指す。

④ 食品安全マネジメントシステムの運用。

重大クレーム時における商品回収の訓練を実施した。

## あおぞらファクトリー 野菜工房

就労B ライフ・ステージ 蒼空舎

支援員：高津 いずみ

### 1、人員について

メンバー16名：支援員3名

コロナウイルス対策として、利用中の GH（他法人）が自主的に外出対応をしたメンバーがおり、その方は4月から9月までの間の蔓延が落ち着いていた6月を除きほぼ出勤できていなかった。9月末から復帰しており現在まで継続してくることが出来ている。

6月に特別支援学校からの実習生2名の受け入れを行った。

1月より新メンバーを受け入れ利用開始となっている。作業等声掛けを行っている。



### 2、メンバー活動

・コロナウイルス対策として玄関での検温、消毒を行ってから入室するようにし、現在も継続している。同居家族のコロナウイルス感染が疑われる場合や、県外からの帰省者との接触があった場合には、2週間の欠席での対応をお願いした。

・1月に ISO9001 再認証審査を終えている。支援員だけでなくメンバーにも ISO9001 の取り組みを理解してもらうため、手洗いの講習、掲示物の掲示を行い作業場全体での衛生面の向上に努めた。

・納品に行けるメンバーの人材育成を目指し取り組んでいる。来期には支援員との2名体制で納品に行けるよう、現在積み下ろしの練習と納品時の手伝いを行い経験を積んでいる。





- ・健康診断を実施。コロナウイルス蔓延防止策として病院側から依頼があり実施場所を分け少ない人数での参加、実施となった。体重過多や運動不足のメンバーがいた為、ウォーキングや体操の運動を促した。
- ・11月にサーカス鑑賞を行った。行事の少ない部署ではあるがメンバーの息抜きになるような行していく。



### 3、作業

- ・取引先一覧

サニーマート総菜工場：野菜下処理、冷凍・粉袋詰め

北川村ゆず王国：ゆずトリミング

やまくに：いりこ割、いりこ粉計量作業

岡林農園：文旦果肉用下処理

高知県特産品販売：ゼリーシール貼り

よさこい工房：生姜皮剥ぎ・スライス、 文旦皮スライス



### R4年度売上報告

	R4.4	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8	R4.9
売上	534362	633652	739019	588072	640422	546619
前年比	87.1%	101.2%	120.9%	78.6%	80.5%	68.2%
	R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3
売上	627108	550218	515768	489617	543373	696848
前年比	95.6%	93.7%	78.3%	85.4%	100.4%	118.6%

### 4、留意

- ・作業に特化した部署づくりを目指し、各自の作業能力の向上を目標としてきた。また一般就労を視野に入れ、社会人としての自覚や言葉遣いが身につくよう話をしてきた。
- ・売り上げ目標として800万を目指し作業に取り組んできたが、総合計710万円、前年比91.1%という結果となっている。